

## 平成 22 年度財団法人富山県健康スポーツ財団事業報告

本県における健康・スポーツ施設の中核団体として、県民の健康の保持増進とスポーツの振興を図るため、疾病の予防、健康づくり及びスポーツの振興に必要な事業を実施し、県民サービスの一層の向上に努めた。

富山県健康増進センターにおいては、県の施設内健診施設の譲渡を受け、施設内健診・集団検診事業とのより一層の一体的・効率的な事業推進を図った。

また、県からの指定管理者の指定を受け、富山県国際健康プラザをはじめ、富山県総合運動公園及び富山県総合体育センターにおいては、県からの委託事業はもとより、各施設独自の自主事業に取組み適切な管理運営を行なった。

### 第 1 国際健康プラザ事業

国際健康プラザは、県民の健康づくりの中核施設として、県民一人ひとりに適した健康づくり活動を支援するための事業を実施した。

国際健康プラザ施設利用者総数

区 分	平成22年度 (A)	平成21年度 (B)	比較増減(A-B)	
年間営業日数	309 日	309 日	0 日	
総利用者数	281,298 人 ( 910 人 )	294,678 人 ( 953 人 )	13,380 人 ( 43 人 )	
内 訳	健康スタジアム	170,055 人 ( 550 人 )	171,330 人 ( 554 人 )	1,275 人 ( 4 人 )
	生命科学館	49,398 人 ( 159 人 )	53,214 人 ( 172 人 )	3,816 人 ( 13 人 )
	屋外施設	43,981 人 ( 142 人 )	51,850 人 ( 167 人 )	7,869 人 ( 25 人 )
	その他 (注2)	17,864 人 ( 57 人 )	18,284 人 ( 59 人 )	420 人 ( 2 人 )

注 1 : ( ) は、1 日当たりの利用者数

注 2 : 内訳の「その他」は、講演会参加者、施設見学者等の数

#### 1 国際健康プラザ事業（指定管理事業）

##### （ 1 ）国際伝統医学センター事業

伝統医学や健康づくりに関する図書、雑誌等を資料閲覧室で県民の閲覧に供した。

##### （ 2 ）生命科学館事業

生命科学館は、主に幼稚園、保育所、小学校の校外学習や家族連れに利用された。

##### ア 展示事業

児童や生徒にからだの仕組みや健康づくりの大切さを学習してもらうため、実際に自分で触れて操作してみる、参加体験型の常設展示を行った。

##### イ 情報提供事業

季節にちなんだ企画展示（パネル等の展示）を行うとともに、小中学生の関心を引きやすいテーマを設けて公開実験を実施した。

## 企画展示

夏の企画展示	運動と健康について	8月14日～8月29日
冬の企画展示	かぜとインフルエンザ	12月25日～1月10日
春の企画展示	アレルギーのいろいろ	3月12日～3月27日

### 公開実験

「虫歯菌セルフチェック」「味覚と臭覚のふしぎ」などのテーマを設けて、参加型の公開実験を開催した。

年9回、参加者数 延べ423人（21年度 8回、参加者数 延べ331人）

### ウ 人材育成事業

常設展示の解説を担当するボランティアの接遇や知識の向上、情報交換のための研修会を開催した。（2回開催）

展示ボランティア登録者数 26人（21年度登録者数 41人）

### （3）健康スタジアム事業

健康スタジアム（トレーニングゾーン、プール等）において、健康づくりの指導や実践指導を行うとともに、コース事業、講座事業等を実施し、利用者の健康づくりの推進に努めた。

また、障害者及び介助が必要な場合の付添い者のスタジアム利用料金を無料としており、これらの利用者が増えている。

利用状況： 障害者 14,135人、介助者 1,047人  
（21年度 障害者 10,954人、介助者 616人）

### ア コース事業

#### （ア）生活習慣改善プラン（長期利用コース）

健康スタジアムを長期利用（1ヵ月～1年）してもらい、健康増進や生活習慣病の予防・改善等にじっくり取り組んでもらった。

#### 健康増進プラン

利用する時間帯に応じて、フルタイム、デイトタイム等、継続的に健康スタジアムを利用しやすいコースを設け、健康の維持・増進に取り組んでもらった。

(利用者数)

(単位：人)

コース名	利用期間	平成22年度(A)	平成21年度(B)	比較増減(A-B)
フルタイム コース	1ヶ月コース	1,170	1,198	28
	3ヶ月コース	494	497	3
	6ヶ月コース	39	33	6
	1年コース	269	277	8
デイトタイム コース 注	1ヶ月コース	251	273	22
	3ヶ月コース	95	85	10
	6ヶ月コース	10	16	6
	1年コース	27	27	0

注 デイトタイムコースの利用時間は、平日の午前10時から午後6時まで

#### 生活習慣改善コース

持参された健康診断結果をもとに、個人に適した、生活習慣改善プログラムを提供し、健康づくりの実践に取り組んでもらうコースを設定した。

#### 健康づくり通信指導コース

住んでいる地域や勤務の都合等で健康プラザに通えない人を対象に、それぞれの地域でできる実践プログラムを提供するコースを設定した。

#### 子供の健康づくりコース

親子で参加してもらい、運動や栄養などについての知識を深めるとともに、実技にも取り組んでもらうコースを設定した。

### (イ) 健康づくりきっかけプラン(1日利用コース)

健康度測定や問診、体力測定等を行い、一人ひとりの健康状態に応じた運動・栄養・休養に関するプログラムを提供し、健康スタジアムで運動実践に取り組んでもらった。

(利用者数)

(単位：人)

コース名	平成22年度(A)	平成21年度(B)	比較増減(A-B)
健康診断コース	0	2	2
健康診断データ持込みコース	14	88	74
体力測定コース	646	1,448	802
いきいきコース	1026	1,877	851
介護予防健康づくりコース	45	0	45
脱メタボ!お試しプラン	17	9	8
1日健康づくり体験コース	70	65	5

(ウ) 健康測定、健康相談

健康スタジアム内で利用者の希望に応じて、様々な健康測定や健康相談を行なった。

- ・ 健康測定

(利用者数)

(単位：人)

コース名	平成 22 年度 ( A )	平成 21 年度 ( B )	比較増減( A - B )
骨密度測定	524	891	367

- ・ 健康相談

健康プラザの利用者には高齢者や障害を持った人が比較的多いことから、健康に関する疑問点等について気軽に相談してもらい、より安全に健康づくりに取り組んでもらうため、健康スタジアム内で、医師や保健師、栄養士、健康運動指導士による健康相談を実施した。 相談件数 176 件

イ 啓発普及事業

(ア) 健康医学講演会

広く県民を対象に、日常の健康法等をわかりやすく紹介する健康医学講演会を開催し、健康づくりの啓発普及に努めた。

開催年月日	講演テーマ	講師	受講者
7月17日	「中高年にやさしい漢方治療」	富山大学大学院医学薬学研究部 和漢診療学講座教授 嶋田 豊	27人
10月16日	「ボケないための脳トレーニング」	富山短期大学食物栄養学科 脳機能解析学教授 田淵 英一	48人
1月22日	「笑い与健康」	富山国際大学国際教養学部 教授 大谷 孝行	60人

(イ) 健康づくり講師等の派遣事業

健康プラザの職員(健康運動指導士・保健師・栄養士)が、県内市町村、企業、学校、老人クラブ、地域団体等の要望に応じて各地へ出向き(一部施設利用時に併せて)、健康づくりのための講話や実技指導、地域包括支援センターでの介護予防教室の講師等を担当し、健康づくりの啓発普及に努めた。

168 回実施 (21 年度、128 回実施)

(ウ) P A (プロジェクトアドベンチャー) 講座

日常生活の中ではなかなか体験できない、集団の中での協力関係や信頼関係の大切さを実感してもらう講座を開催した。

(利用者数)

(単位:人)

講座区分		平成22年度(A)		平成21年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
P A 講座	半日コース	15	505	19	713	4	208
	1日コース	10	193	16	425	6	232
	小計	25	698	35	1,138	10	440

(エ) 母親のための健康づくり講座(ヘルスアップママ講座)

乳幼児を持つ女性を対象に心身のリフレッシュや産後の体力回復等を目的に健康づくり講座を開催した。

(利用者数)

(単位:人)

講座区分		平成22年度(A)		平成21年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
ヘルスアップママ講座		24	83	24	96	0	13

(オ) 保養地講座

県内の様々な保養地に出かけ、健康づくり活動や地域の文化活動を体験し、心身をリフレッシュする講座を開催した。

(利用者数)

(単位:人)

講座区分		平成22年度(A)		平成21年度(B)		比較増減(A-B)	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
保養地講座		1	20	1	20	0	0

(カ) 生活習慣改善講座

運動、栄養、休養等に関する講義や簡単な実技を行なう講座を開催した。講座受講生以外に他のコース受講生も受講できるようにした。

(利用者数)

(単位:人)

講座区分	平成22年度(A)	平成21年度(B)	比較増減(A-B)
生活習慣改善講座	25	45	20

注 延人数には、他のコース受講生も含む

#### (キ) 健康講話

健康スタジアムの利用者に限らず一般県民を対象に、月に1回「健康講話」を開催し、健康づくり、疾病予防、介護予防等に関する情報の提供に努めた。22年度は同財団連携事業の1つとして健康増進センター職員も講師として実施した。

実施回数:9回 参加人数:133人 (21年度 実施回数:9回 参加人数:111人)

#### ウ 調査研究事業

平成19~21年度に実施したTHPデモンストレーション事業でのデータ解析を行い検討し、日本公衆衛生学会等で発表した。

9月	第65回日本体力医学会	高齢者の骨密度(Young Adult Mean)と生活体力・日常状況との関連性について
10月	第69回日本公衆衛生学会	中小規模事業場で働く30、40歳代男性の職業性ストレスと休養状態との関連
	第38回北陸公衆衛生学会	中小規模事業場で働く労働者の睡眠時間と熟眠感の関係
11月	第32回全国地域保健師学術研究会	2年間の特定保健指導事業取り組みと評価

#### エ 情報提供事業

インターネットのホームページ「とやま健康パーク」で、健康に関する情報やイベントの紹介、県内の健康づくり関連施設や関連サークル、人材に関する情報の発信を行うとともに、マスメディアを通じての広報、健康イベント等へ出展し様々な機会に啓発普及を図った。

22年度は、健康プラザ利用者へのタイムリーな情報提供を図るため、「メールマガジン」により発信を行った(登録者数112人)。

また、ホームページの「トピックス」欄と連動させることにより、より分かりやすい情報提供に努めた。

- ・マスメディア等を通じた広報：「雑誌VITA」「月刊誌タクト」「きときと情報」等
- ・イベントへの出展：「健康と長寿の祭典」「富山労働安全衛生大会」「スポレク富山」等

#### オ 人材育成事業

##### (ア) 健康づくり担当者研修会

県厚生センター、市町村等の健康づくり担当者、学校、企業の保健指導者を対象に健康づくり事業の効果的推進役としての資質の向上を図るため開催した。

開催年月日	講演テーマ	講師	受講者
2月25日	産業保健における睡眠公衆衛生～働く人々の睡眠と健康について考える～	労働安全衛生総合研究所 上席研究員 高橋 正也	24人

(イ) 健康づくり指導者研修会及び地域医師研修会

県や市町村、学校、企業等の健康・保健指導担当者を対象とした「健康づくり指導者研修会」と県内の地域医療に関わる医師等を対象とした「健康スポーツ医学研修会」を開催した。(この研修会は、健康運動指導士や健康運動実践指導者の資格更新のための単位認定講座と、スポーツ医の資格更新に必要な地域医師研修会を兼ねて開催した。)

日 時	内 容	講 師	受講数
10月23日	フィットネスダンスプログラム作成の実践	日本健康運動指導士会富山県支部理事 片貝 仁子	指導者 6人
	健康・体力づくりにおける身体の動かし方のポイント	富山大学人間発達科学部教授 堀田 朋基	
	時間栄養学から健康・スポーツを科学する - マスコミでは語れない食のウソ・ホント -	県立広島大学人間文化学部健康科学科教授 加藤 秀夫	指導者 6人 医 師 33人

(ウ) 介護予防指導者養成研修会

富山県内の地域包括支援センター職員を対象に、介護予防に役立つ運動機能向上に関する知識習得と技術スキルの向上を図るため「富山県介護予防指導者養成研修会」及び「富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会」を各2回開催した。

・富山県介護予防指導者養成研修会

	開催日	受講者
第1回	7月6日・7日	13名
第2回	9月7日・8日	11名

・富山県介護予防指導者実務（フォローアップ）研修会

	開催日	受講者
第1回	9月1日	10名
第2回	12月8日	8名

カ ちびっ子室（託児室）の運営

健康スタジアム内にあるちびっ子室（託児室）に保育士を配置し、スタジアム利用者の子ども（未就学児）を預かり、子育て中の人にも安心して健康スタジアムを利用してもらえよう配慮した。(利用料金 1人：300円/2時間)

利用者数（子どもの数） 延 1,056人 (21年度 延 1,399人)

## キ 利用者の声の反映

健康プラザの運営改善を図るため、随時アンケートを実施するとともに健康スタジアム利用者の中からモニターを公募して、利用者モニター会議を開催し、利用者の意見の反映に努めた。

利用者モニター：8名、モニター会議の開催回数：年2回（8月、3月）

## ク 県内の施設、団体や地域との連携

### （ア）富山県健康増進施設連絡協議会の開催

県内各地域の健康増進施設で構成する連絡協議会（会員施設34施設）を開催し、健康増進施設の紹介や情報の提供・交換を行った。また、県と協力し、会員施設にメタボ予防展示教材の貸出しを行った。

### （イ）富山県国際健康プラザ協議会の運営

健康プラザの周辺地域との連携を密にし、施設の円滑な運営を図るため、地元関係者との連絡協議会を開催した。協議会開催回数：年2回

### （ウ）健康スポーツ財団連携事業

#### ・ 健康増進センター連携事業

関連施設である富山県健康増進センター受診者を対象に、受診後の健康プラザ割引利用を促進した。利用数 582人

#### ・ 体育・運動施設連携事業

「体育の日」に合わせて、関連施設である富山県総合運動公園及び富山県総合体育センターとで、同時期にイベントを開催し利用促進を図った。

（名称） 体育の日「健康・スポーツフェスティバル」

（内容及び参加数） ウォーキング講座 6人

ストック de ウォーキング講座 9人

#### ・ 健康・体育施設管理運営に関する研修

安全で効率的な施設運営を図るため、財団が管理運営する施設の職員に対して、管理運営に関する研修会を開催し、資質の向上を図った。

（内容及び講師） 内容：健康・体育施設の安全管理と利用者への配慮について  
講師：富山県総合体育センター 山地課長補佐

（参加数） 22人

### （エ）県プロスポーツ団体との連携事業

県内プロスポーツ団体であるサッカーJ2の「カタレ富山」と連携し、利用者とプロスポーツ選手との交流を図った。

（内容） カタレ富山の選手によるデモンストレーションと子どもたちへの指導

（参加数） 25人

#### (4) 屋外健康づくり施設の管理

6haを超える屋外健康づくり施設を無料で開放し、緑あふれる環境の中で楽しく健康づくりができるよう、施設の維持管理に努めた。

平成22年度の利用者数は43,981人(21年度51,850人)であった。このうち、パークゴルフ場の利用者数は23,730人(21年度30,200人)であった。

<主な施設> パークゴルフ場、健康遊歩道、トリムコース、アドベンチャーフィールド、フィールドアスレチックス、じゃぶじゃぶ池、薬木の径、ハーブ園、薬草園、イベント広場等

## 2 国際健康プラザ事業(自主事業)

### (1) 教室事業

健康づくりを運動・栄養・休養の各方面から支援するため、運動系・文化系の様々な教室を開催した。教室の講師は公募方式とし、健康プラザが会場を提供し、意欲のある人が誰でも自由な発想で健康づくり事業や文化事業を主催できる、県民参加型の事業として実施した。

区分	教室名	開催時期	延べ参加者数
運動系	フラダンス	通年	219人
	ヨガ	通年	476人
	太極拳	通年	269人
文化系	歌謡教室	通年	42人
	新感覚いけばな教室	通年	42人

### (2) 県職員や警察職員、企業従業員等のための健康づくり事業の受託

県や市町村、共済組合、企業の依頼を受け、健康的な生活を確立するための運動習慣づくりを目的とした研修、運動の実践、測定等を実施した。

団体名	事業名称等	開催回数	参加者数
富山県	ヘルスアップスポーツセミナー	16回	239人
	職員PA	3回	48人
	生活習慣改善セミナー	1回	9人
富山県警察共済組合	心と体のヘルスアップセミナー	4回	79人
教職員厚生会	ヘルスアップセミナー	13回	169人
黒部市(国保)	健康パーク健康づくり教室	2回	45人
氷見市	氷見市介護予防体験教室	1回	23人
富山第一銀行健保組合	チャレンジコース	17回(1人当り)	34人
和漢薬の里ヘルスツーリズム推進協議会	和漢薬の里ヘルスツーリズム事業	5回	42人

### (3) 特定保健指導事業

20年度より開始した特定保健指導については、実践指導を重視した方法で事業を実施した。

受講人数 ・ 動機づけ支援コース 33人 ・ 積極的支援コース 69人

(21年度 ・ 動機づけ支援コース 41人 ・ 積極的支援コース 82人)

### (4) メタボリックシンドローム予防戦略事業

県からの委託を受けて、対象年齢層を絞ったメタボリックシンドローム予防戦略事業を実施した。小学4年生から中学1年生を対象とした親子で参加する「親と子の健康生活応援事業」及び青年期を対象とした「青年期から働く世代にむけた健康生活応援事業」を実施した。

受講人数 ・ 青年期対象 372人 (21年度 39人)

・ 親子対象 40人 (21年度 38人)

### (5) 中小規模事業場健康づくり事業(略称THP)

中央労働災害防止協会が、厚生労働省の委託を受けて実施する中小企業従業員の健康づくりの支援を行った。平成22年度は「業務の特性に応じた労働者の健康改善支援事業」を実施した。

参加事業場数 10事業所

参加者数 集団指導 172人 個別指導 118人

### (6) 医療費控除の証明

健康プラザは厚生労働省の「指定運動療法施設」の指定を受けており、医師の処方に基づき健康状態の改善を目的に健康スタジアムを利用した場合に所得税の医療費控除の対象となることから、この制度についてPRを行うとともに、該当者に対し証明書の発行を行った。

平成22年の利用実績 85人 (21年度 86人)

### (7) 「市町村の日」の実施

健康プラザから比較的遠く、利用の少ない市町村の人たちに、施設をできるだけ利用してもらうため、「市町村の日」(土・日曜日を含む概ね1週間)を設けた。当日は、該当市町村の個人・団体の利用料金を半額とし、バスでの送迎を行なうなど、利用の促進に努めた。

平成22年度 高岡市、小矢部市、射水市等5市町と提携して実施

( 8 ) 利用促進のための事業

夏休みやクリスマス、年末年始等、季節に応じた特別企画事業を実施するとともに、報道機関と提携して、テレビ・新聞・広報誌等に健康づくり運動の紹介やイベント紹介を行うなど、県民に健康づくりをアピールするためのPR活動に努めた。

( 9 ) 友の会事業

健康プラザ利用者のための会員組織「とやま健康パーク友の会」を運営し、健康プラザの利用助成や健康づくりイベントの開催等、健康プラザ利用促進のための様々な事業を実施した。

平成 22 年度の会員数 個人会員 785 人、団体会員 117 団体

( 10 ) 健康福祉バスの活用

健康プラザ所有の健康福祉バス(定員 38 人)等を活用して、団体の送迎を行ない、市町村が実施する高齢者の健康づくり事業や児童クラブ、地域団体の健康スタジアム利用拡大に努めた。

利用団体数 86 団体 (21 年度 112 団体)

利用者数 2,188 人 (21 年度 2,986 人)



### 3 集団検診事業（自主事業）

#### （1）集団検診事業

検診者総数は、273,386人で、前年度に比べ13,303人（4.6%）減少した。

検診別では、循環器検診で2,629人（4.7%）、特定保健指導で15人（2.1%）増加したが、他の検診は総じて減少した。

子宮検診で2,350人（4.3%）、乳房検診で4,576人（9.9%）と大きく減少したが、これは、利用者が他の健診機関へ移行したことや無料クーポン利用の減少が影響したと思われる。また、減少傾向が続いている胃がん検診で1,182人（3.1%）、肺がん検診で2,769人（10.7%）、結核検診で3,862人（9.7%）減少した。

集団検診実施状況（単位：人、台）

区 分	平成22年度（A）		平成21年度（B）		比較増減（A - B）	
	年間検診 人 員	検診車稼 動台数	年間検診 人 員	検診車稼 動台数	年間検診 人 員	増減率 %
胃がん検診	36,680	1,238	37,862	1,212	1,182	96.9
子宮がん検診	52,009	649	54,359	641	2,350	95.7
乳がん検診	41,612	676	46,188	993	4,576	90.1
肺がん検診	23,115	-	25,884	-	2,769	89.3
大腸がん検診	22,560	-	23,313	-	753	96.8
循環器検診	58,295	-	55,666	-	2,629	104.7
特定保健指導	741	-	726	-	15	102.1
結核検診	35,924	673	39,786	465	3,862	90.3
骨粗鬆症検診	2,450	66	2,905	64	455	84.3
合 計	273,386	-	286,689	-	13,303	95.4

#### （2）啓発普及事業

##### ア がん征圧月間運動の実施

9月のがん征圧月間に、がん予防に関する正しい知識の普及と早期発見、早期治療の大切さを訴えるため、パンフレットやポスタ - の配布、懸垂幕の掲示等により、検診勧奨の普及を図った。

・実施期間 平成22年9月1日（水）から30日（木）まで

##### イ 日本対がん協会維持会員の募集

がん征圧運動を実施するため、県、市町村、医師会、事業所等の協力を得て、日本対がん協会維持会員の募集と募金を行った。

- ・個人維持会員数 177人 募金額 423,000円
- ・法人維持会員数 46人 募金額 550,000円
- ・募金総額 973,000円

#### ウ 講演会

市町村や事業所等の要望に応じて職員を派遣し、がんや生活習慣病予防に関する講演を行った。

- ・講演回数 年間 29 回実施

#### エ 視聴覚教材の貸出し

健康づくりに関する視聴覚教材を市町村、事業所、学校等へ貸出し、疾病予防や健康づくりの啓発を行った。

貸出実績

区 分	件 数
ビデオ	0 件
模 型	26 件
パネル	111 件
合 計	137 件

#### 4 がん基金事業

富山県がん対策基金の運用益により、街頭キャンペーン等、がん予防に関する普及啓発を行うとともに、がん予防技術者の研修助成を行った。

##### (1) がん予防の啓発普及事業

##### ア 年間を通したラジオスポットによるキャンペーン

- ・ラジオ放送の実施(2社 延べ94回放送)

##### イ がん征圧月間(9月)におけるキャンペーン

##### (ア) がん予防健康展の実施

- ・開催日及び場所

平成22年9月1日(水)~9月30日(木) 国際健康プラザ

平成22年9月25日(土)・26日(日) 高岡市ふれあい福祉センタ-

##### (イ) エコ-はがき(広告付)の作成

- ・9月1日発行(1種類 7万枚)

##### (ウ) 新聞広告による普及啓発の実施

- ・9月1日朝刊 3紙 約369千部発行(クイズ形式で掲載)

##### ウ 世界禁煙デー(5月31日)のキャンペーン

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」を中心に検診車に大型シール(標語)を貼りキャンペーン活動を展開した。

- ・実施日 平成22年5月24日(月)~6月6日(日)
- ・検診車台数 20台

エ ピンクリボンキャンペーンの実施

・10月 ピンクライトアップ富山城他2ヶ所

(2) がん予防の講演等

ア 研修会・報告会の開催

市町村や事業所の保健師・衛生管理者等を対象に、平成22年度健康増進センター  
検診実績の報告会と併せてがん検診普及啓発のための講演会を開催した。

イ 研修会等参加の助成

がん検診に従事する医師など、医療技術者の研修会等派遣の助成を行い、読影技術等の精  
度管理の向上に努めた。(助成人員6名)

5 複十字募金事業

(1) 複十字シール運動の実施

結核予防運動を推進するため、県、市町村、婦人会等各種団体の協力を得て複十字シ  
ール募金活動を行った。(募金総額2,976,158円)

(2) 結核予防週間の普及啓発活動

結核予防週間を中心として、街頭放送・懸垂幕の掲示やポスターの配布等を行い、富山県結核  
予防婦人会(富山県婦人会)の協力を得て全国統一の街頭キャンペーンを実施し、結核に対す  
る関心と予防思想の普及啓発に努めた。

・街頭放送及びポスターの掲示

実施期間 平成22年9月1日(水)~30日(木)

・街頭キャンペーンの実施

実施日及び場所 平成22年9月23日(木)富山市・グランドプラザ周辺

・懸垂幕の掲示

実施期間及び場所 平成22年9月1日(水)~30日(木)

富山市役所広告塔

### 第3 総合運動公園事業

#### 1 総合運動公園事業（指定管理事業）

総合運動公園では、競技施設及び園地の効率的な管理運営と県民サービスの向上に努めた。年間利用者数は670,627人で、前年度に比べ9,514人（1.4%）増加した。

陸上競技場等の有料施設においては、246,048人の利用者があり、前年度に比べ2,496人（1.0%）増加した。

また、園地への来園者数は424,579人となり、7,018人（1.7%）増加した。

#### 総合運動公園管理事業

主な供用施設	陸上競技場、補助競技場、屋内グラウンド、芝生スポーツ広場 ファミリー広場、のびのび広場、げんき広場、多目的広場 クロスカントリーコース
管理面積	46ha
年間利用者総数	670,627人

#### 2 総合運動公園利用促進事業（自主事業）

##### （1）健康・スポーツフェスティバルの開催

###### 「第2回 50メートルダッシュ王選手権大会」

スポーツの振興を目的とし、スポーツに親しみながら、本県の幅広い年齢層への陸上競技の普及と富山県陸上競技場の活用を図るため、第2回50メートルダッシュ王選手権大会を開催した。

開催日 平成22年10月10日（日）

参加者 1歳から67歳までの男女250名

活動内容 ・50メートルダッシュ 2本、全員に記録賞・優勝者にメダル授与

・アトラクションゲーム：（ウォータックスフットボール投げ）

（50mぴったりタイムで走りましょう）

##### （2）「第8回こどもたちの雪合戦大会 in 富山県総合運動公園」

冬期間の子供たちの健康づくりのため「第8回こどもたちの雪合戦大会 in 富山県総合運動公園」を開催した。

開催日 平成23年1月23日（日）

参加者 小学生10チーム100人

競技方法 予選リーグ、決勝トーナメント

## 第4 総合体育センター事業

### 1 指定管理受託事業

富山県総合体育センターは、県内の体育・スポーツの中核施設として、県民の体育・スポーツ活動の支援や普及・振興、競技選手の競技力向上を図るとともに、全国的・地域的大会及び県内の各競技大会の運営が円滑に行われるよう、施設の有効利用と適切な維持・管理に努めた。

また、全施設の効果的かつ積極的な管理・運営を通して、県民のニーズと有効活用を図るため次の事業を実施した。

年間入館者総数は536,933人（平成21年度 515,180人）で、前年度に比べ21,753（4.2%）人の増加となった。

#### （1）体力測定事業

県民の体力づくりや選手の競技力向上を図るため、測定データに基づいた適正なトレーニング処方を提供した。

ア 一般測定（コンピュータ体力診断システム）

平成22年度 1,501人（平成21年度 1,399人）

イ 専門測定（呼吸循環器系、筋力系、動作分析等）

平成22年度 830人（平成21年度 730人）

#### （2）スポーツ障害相談事業（スポーツクリニック）

スポーツドクター等の専門医を招き、スポーツ障害等に関する相談事業を実施し、運動制限、治療方法、トレーニング方法等についてのアドバイスを行った。

ア 整形外科系相談（第2土曜日 14時から16時まで）年間12回

平成22年度 71件71人（平成21年度 61件60人）

イ 内科系相談（第3・4土曜日 14時から16時まで）年間18回

平成22年度 86件86人（平成21年度 77件77人）

#### （3）広報事業

富山県総合体育センターの行事予定、スポーツに関する相談、知識・情報等を盛り込んだ広報誌「スポーツパレス便り」を発行し、施設利用促進のためのPRに努めた。

平成22年度 年間11回発行 2,500部/回

#### （4）企画展示事業

スポーツに関する富山県関係の貴重な資料や記録を展示し、県民のスポーツへの関心を高めるとともに、より一層の普及と振興に努めた。

ア 常設展示

- ・富山県スポーツ年史
- ・2000年とやま国体の大会プログラム、記念章、マスコット人形
- ・国民体育大会参加記念章（第1回から第65回）

・スポーツ日本一

(その年度に日本一になった県内選手の賞状、カップ、メダル、トロフィー等)

イ 特設展示

・アテネオリンピック関連コーナー

・サッカー 柳沢 敦選手 イタリア「サンブドリア」移籍記念のスパイク、写真等

(5) 体力づくりノート作成事業

児童の基礎体力を高めるため、児童が自主的、意欲的、継続的に体力づくりに取り組めるよう運動の種目や方法を示した体力づくりノート「チャレンジ3015」を県内の小学生(1~6年生)に配布し、運動量が目標得点(3015点)に達した児童には、体力づくり「認定章」(バッジ)を配布した。(注 3015とは、立山の標高3,015mを表す。)

ア 体力づくりノート「チャレンジ3015」

・ノートの配布 県内の小学生1~6年生59,770人(平成21年度30,094人)

・認定章(バッジ)の配布 56,111人、達成率93.3%(平成21年度55,456人、91.9%)

(6) 強化指定選手スポーツ医・科学的サポート推進事業

本県競技選手の競技力向上等をサポート・支援を目的として、当体育センターで選手の医・科学的な検査及び測定を実施し、その結果に基づいて適正なトレーニングメニューの提供、指導、助言等を行った。

ア 各種委員会の開催

(ア) スポーツ医・科学的トレーニング事業推進委員会

運動生理学者、スポーツドクター、行政担当者等で構成する推進委員会を開催し、富山県のスポーツ医・科学的トレーニング推進策等全般について審議するとともに、特別競技、一般強化競技、強化選手及びサポート選手の指定を行った。

平成22年度 2回開催(平成22年5月、平成23年3月)

(イ) スポーツ医・科学的トレーニング事業専門委員会

スポーツドクター、競技指導者、トレーナー、栄養士等で構成する専門委員会を開催し、推進委員会で審議された事項や指定された競技、選手のサポート、支援策等について協議するとともに、強化指定選手等に対する指導、助言等を行った。

平成22年度 2回開催(平成22年5月、平成23年3月)

イ 強化指定事業

指定された競技の指導者、選手等を中心に下記の支援事業を実施した。

(ア) 強化指定競技

・トータルサポート 10競技12種目(スキー、水球、ボート、ホッケー、ウエイトリフティング、ハンドボール、フェンシング、柔道、バドミントン、カヌー)

・フィジカルサポート 11競技11種目(アイスホッケー、陸上、水泳、サッカー、ボクシング、バレーボール、レスリング、自転車、ソフトテニス、相撲、)

- ・成年サポート 11 競技 13 種目（スキー、スケート、陸上、ボート、ホッケー、バレーボール、ソフトテニス、軟式野球、相撲、バトミントン、カヌー）
- ・スペシャルサポート 3 競技（野球、駅伝、ウエイトリフティング）

（イ）サポート選手 604 名

（ウ）メディカルチェック

内科的メディカルチェック、整形外科的メディカルチェック

（エ）体力測定等

形態測定、呼吸循環器系、筋系、バイオメカニクス（動作分析）等

（オ）各種研修会等

トレーニング理論・実習、スポーツ栄養、スポーツ障害予防、スポーツメンタルトレーニング、スポーツコーチング等

（カ）現場指導等

トレーニング、スポーツ栄養、整形外科的障害予防、バイオメカニクス（動作分析等）  
スポーツメンタルトレーニング、トレーナー派遣等

（キ）現場調査等

指定された競技・選手に対する大会等での実態調査、食事等に関するアンケート調査等

ウ 啓発・普及活動等

（ア）「HP 富山県総合体育センター」での情報提供、トレーニング室・体力測定室等の紹介

（イ）「HP とやまスポーツ情報ネットワーク」でのスポーツ Q & A の開設「コンディショニングノート」の掲載

（ウ）「HP とやまスポーツ情報ネットワーク」での研究報告書等の掲載

スポーツ医・科学的トレーニングの報告書、情報誌（No.41、No.42）

（エ）T-net でのスポーツ医・科学的情報の配信

エ 調査・研究活動

- ・スポーツ医・科学的トレーニングに関する調査・研究
- ・富山県体育協会との連携活動
- ・上記に属さないスポーツ医・科学的トレーニングに関する活動等

オ 国立スポーツ科学センター（JISS）との連携活動

- ・長期、短期研修への参加、JISS 主催研修会等の関係機関への紹介
- ・全国ネットワーク会議、国際スポーツ科学会議への出席
- ・当体育センター発刊の情報誌等の寄稿、事業等へのアドバイス等
- ・スポーツ全般の情報共有、情報交換、情報発信（j-net 活用）等
- ・JISS の要請及び紹介による全日本チーム、海外チームの強化合宿、強化練習会の受入等

(7) 強化指定選手スポーツ医・科学的サポート推進事業(拡充)

本県の強化指定選手の内、スポーツ医・科学的サポートの効果が期待できる少年種別、成年種別及び特別強化競技(野球、駅伝)のサポート選手計540人を指定し、メディカルチェック、体力測定、メンタルトレーニング、栄養調査等を実施した。

(8) スポーツ情報ネットワーク管理運営事業

スポーツに関する様々な情報を、スポーツを愛好するすべての県民が手軽に入手し、情報を発信・共有できるようにするため、情報提供・情報交換の基盤となるwebサイト「とやまスポーツ情報ネットワーク」を整備し、管理運営を行った。

- ・システムオペレーターの配置
- ・構築サイトの管理・運営、公開端末の管理、ネットワーク高速化等の改善等
- ・情報の更新

(9) 連携・支援事業

県体育協会が実施する小学5・6年生を対象にした「未来のアスリート発掘事業」と連携し、将来スポーツリーダーとして活躍できる人材の育成に協力した。

2 自主事業(総合体育センタースポーツパレス事業)

(1) 講師等の派遣

選手の競技力向上・体力増強を図るため、高校等、市町村及び関係団体等への講師派遣  
平成22年度 45回 1,150人(平成21年度 39回 660人)

(2) 健康・スポーツフェスティバルの開催

当体育センターの有効利用、利用促進を図るため、パレススポーツクラブ(当体育センターを拠点とする総合型地域スポーツクラブ)に対する支援活動を行った。

ア 開催日 平成22年10月11日(月)体育の日

イ 開催場所 富山県総合体育センター

ウ 実施内容

- ・パレススポーツクラブ活動発表会
- ・水泳フリー記録会
- ・富山サンダーバース野球教室
- ・チームライフル大会
- ・スポーツなんでも広場
- ・体操広場
- ・ヨガ体験セミナー
- ・トランポリン体験セミナー
- ・スポーツ障害、トレーニング相談
- ・シンクロナイズドスイミング体験
- ・骨密度、体脂肪率測定、体力測定(コンピュータ体力チェック)
- ・水球交流会

エ 参加者 6,132人(平成21年度 5,144人)

(3) パレススポーツクラブへの支援

セミナー活動への助言及び人的支援を行った。

ア セミナー数 22 セミナー

(うんどうだいすき、水泳ジュニア、わくわくスポーツ、わんぱくスポーツ、シンクロナイズドスイミング、水球ジュニア、フェンシング、トランポリン、陸上ジュニア、卓球ジュニア、新体操入門、体操ジュニア、テニスジュニア、初心者テニス、レディーストランポリン、レディーステニス、ソフトエアロビクス、元気 TOYAMA スポーツ文化はつらつ塾、キッズヨガ、ヨーガセラピー、ベースボール、サッカー)

イ 会 員 650 人 (平成 21 年度 750 人)

ウ 実施日数 255 日 (平成 21 年度 260 日)

(3) 利用促進活動の連携

ア 広報・PR 活動・チラシの配布

イ 季節毎の行事

・こいのぼり (5 月) 七夕 (7 月) クリスマスツリー (12 月) ひな飾り (3 月)

## 第5 理事会の開催状況

### 1 理事会の開催

#### (1) 第1回理事会

開催日 平成22年5月31日(月)

開催方法 書面表決

議案 議案第1号 平成21年度財団法人富山県健康スポーツ財団事業報告の件  
議案第2号 平成21年度財団法人富山県健康スポーツ財団収支決算の件  
議案第3号 財団法人富山県健康スポーツ財団役員選任の件

#### (2) 第2回理事会

開催日 平成22年7月16日(金)

開催方法 書面表決

議案 議案第1号 財団法人富山県健康スポーツ財団役員選任の件

#### (3) 第3回理事会

開催日 平成22年12月24日(金)

開催方法 書面表決

議案 議案第1号 富山県総合体育センターの指定管理者辞退の件

#### (4) 第4回理事会

開催日 平成23年3月25日(金)

開催方法 書面表決

議案 議案第1号 財団法人富山県健康スポーツ財団寄附行為一部改正の件  
議案第2号 平成22年度財団法人富山県健康スポーツ財団補正予算(第1号)の件  
議案第3号 平成23年度財団法人富山県健康スポーツ財団事業計画の件  
議案第4号 平成23年度財団法人富山県健康スポーツ財団収支予算の件  
議案第5号 平成23年度財団法人富山県健康スポーツ財団資金運用方針の件  
議案第6号 財団法人富山県健康スポーツ財団役員選任の件